社会福祉法人宇佐市社会福祉協議会　発行誌

社協だより うさ

2020
VOL.46 9月号

http://usa-shakyo.jp/

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金運動

期間：10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金運動にご協力お願いいたします。

令和元年度　事業報告

少子高齢化及び人口減少社会が取り巻く環境はとりわけ複雑化、多様化しており、要介護高齢者や一人暮らし高齢者の増加に加え、無縁社会の風潮が浸透する中での、虐待、孤立死、閉じこもりなどの問題も表面化しております。

このような社会の変動の中、本会では地域福祉推進のために「だれもが安心して暮らせるまちづくり」「災害に強いまちづくり」を推進してきました。

法人運営部門では、本会と住民の顔の見える関係づくり及び知名度の向上に努めました。

地域福祉部門では、主に高齢者福祉事業、ボランティアセンター事業、子育て支援事業、権利擁護及び生活困窮者の支援を行いました。また、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進し、地域づくりに努めました。

自然災害に対する備えとしては、発災時の対策について「宇佐市災害ボランティアネットワーク」の参画団体と災害ボランティアセンター運営訓練を通し、災害時の対策の検討を行いました。

年度末には新型コロナウイルスの感染拡大防止と安全確保に努め、合わせて総合的に地域福祉の推進に努めました。

法人運営部門

- 理事会３回、評議員会２回、監事監査１回、評議員選任・解任委員会１回
- うさ福祉フェスタ　９月14日（土）参加者474名　式典、活動発表
- 広報啓発活動　社協だよりの発行３回　ホームページの適時更新
- 共同募金運動　赤い羽根共同募金 6,804,298円　歳末たすけあい募金 3,344,848円
  高齢者、障がい者、児童福祉に配分
- 一般寄付・香典返しによる寄付金　311件 7,298,433円　地域福祉活動に活用
- 福祉バスの運行　年間72回

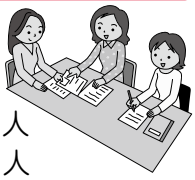
地域福祉部門

- 各種講習会等の実施　点字講習会17回、特別支援教育相談室20回
- ファミリーサポート事業　活動件数203件
- ボランティア事業の推進　ボランティア登録　52団体 1,221人　個人９名　相談斡旋件数61件
- 福祉教育の推進　市内小中学校で車いす・手話・点字等体験学習25回
- 地域に根ざした介護予防教室　市内137教室　ボランティアの派遣617名
- 高齢者ふれあいサロン　102か所
- 認知症予防教室　20教室

- 認知症地域支援推進員の活動　相談件数109件　訪問支援117件　地域啓発44か所
  認知症サポーター養成講座８回　専門職対象の講演会１回　認知症カフェ２か所22回
  視察受入５件（県内外）

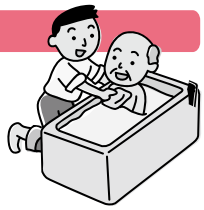
- 認知症初期集中支援チームの活動　相談件数49件　訪問221件　啓発活動34回
- 生活支援コーディネーターの活動　地域会合（ワークショップ）・会議等62回
  介護予防教室等への啓発24か所
- 日常生活自立支援事業　利用者数79名　活動件数1,321件
- 宇佐市成年後見支援センターの運営　相談件数56件　啓発活動46件　市民後見人養成講座８名全員修了
  フォローアップ研修２回延べ40名受講　宇佐市成年後見制度利用促進協議会設置準備会開催１回
- 法人後見事業　受任件数３件（後見２件　保佐１件）
- 生活困窮者自立支援事業　相談者数39名
- 黄色い旗運動　28か所　3,941枚
- 障がい者移動支援事業　運行回数155回　延べ利用者数962名
- 食の自立支援事業　3,253食
- うさ児童館の運営　開設日数287日　延べ利用者数27,387人
- 安心院児童館の運営　開設日数280日　延べ利用者数10,812人
- 津房放課後児童クラブ　開設日数254日　延べ利用者数2,795人
- 院内子育て支援拠点　開設日数140日　延べ利用者数1,527人
- 安心院子育て支援拠点　開設日数148日　延べ利用者数820人
- 宇佐市災害ボランティアネットワークの運営

【介護保険事業】



●居宅介護支援事業　ケアプラン作成件数 1,398 件
●訪問介護事業　延べ利用者数 350 名　延べ訪問回数 2,793 回
●通所介護事業　院内老人デイサービス　開設日数 255 日　延べ利用者数 4,617 人
　　安心院老人デイサービス　開設日数 255 日　延べ利用者数 3,992 人

【障がい者自立支援事業】



●障がい者生活介護事業　開設日数 256 日　延べ利用者数 2,035 人
●障がい者居宅介護・同行援護事業　延べ利用者数 59 人　延べ訪問回数 447 回
●障がい者相談支援事業　担当数 6 名　延べモニタリング回数 15 回

【院内圏域地域包括支援センター】

●総合相談、支援事業の推進　電話での相談 276 件　来所での相談 80 件、訪問での相談 135 件
●院内圏域地域包括ケア会議　11 回

【令和元年度決算の状況】

単位：円

事業活動による収入		事業活動による支出	
寄付金収入	7,298,433	人件費支出	210,620,315
経常経費補助金収入	27,500,000	事業費支出	43,481,236
共同募金配分金収入	7,788,848	事務費支出	24,891,275
受託金収入	136,191,845	貸付事業支出	2,914,270
貸付事業収入	2,559,270	共同募金配分金	7,788,848
事業収入	3,508,355	助成金支出	11,440,000
負担金収入	4,947,025	負担金支出	4,932,606
介護保険事業収入	82,162,579	その他の支出	136,590
障がい福祉事業収入	20,616,391		
助成金収入	4,534,410		
受取利息収入	7,276		
その他の収入	5,974,785		
計①	303,089,217	計②	306,205,140
		③＝①－②	-3,115,923
施設整備等収入	0	固定資産取得支出	265,000
計④	0	計⑤	265,000
		⑥＝④－⑤	-265,000
その他の活動による収入	14,253,379	その他の活動による支出	7,061,280
計⑦	14,253,379	計⑧	7,061,280
		⑨＝⑦－⑧	7,192,099

当期末資金収支差額合計⑩＝③＋⑥＋⑨　3,811,176 円
前期末支払資金残高⑪　78,462,390 円
当期末支払資金残高⑫　82,273,566 円

安心院支所

安心院老人デイサービスセンター

若返り体操に取り組んでいます!

安心院老人デイサービスセンターでは、看護師の指導で様々なリハビリ運動を行っています。チューブ・ボールを使用しての体操や脳トレーニングを行いながらの体操も取り入れ、頭や身体全体のリハビリ運動に取り組んでいます。

足の指を使いチューブを丸めたり、伸ばしたりする難しそうなリハビリも意外と簡単にできるようになり、みなさん日々上達しています。家の中でもできる運動が多く、利用者さんからも喜ばれています。これからも楽しみながらできるように工夫して、頭も身体も若返りを目指します!!

(連絡先　☎48-2620)

院内支所

にこにこ広場いんない

『にこにこ広場いんない』は、概ね0～3歳の未就園児を対象にご利用いただいています。広場では、親子で好きなおもちゃで遊ぶ事ができ、月一回の催し物(講習会、世代間交流会、季節の製作、両川こども園の体験)にも参加いただけます。また、ちょっとした育児の悩みを相談したり、親も子も交流を深め、楽しく過ごしています。

今年になり、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、皆様に安心していただける様取り組んでいます。当面の間、来所者全員に、密を防ぐ為の人数制限、マスクや検温、手洗いにご協力いただき、おもちゃ等の消毒に努めています。来所者の皆様には大変ご不便をおかけしていますが、ご理解とご協力をお願い致します。

(連絡先　☎42-5631)

うさ児童館

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に取組み

うさ児童館は、ただいま新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組みながら開館しています

ただし、密を避ける為、各フロアに定員を設けています。

●子育てサロン	10名	●2F　図書室・集会室	10名
●2F　遊戯室	12名	●体育館	20名

定員を超えた場合はその場で予約して頂き、1時間ごとに入替を行っています。

感染拡大防止の為、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

(連絡先　☎34-6711)

令和２年度 ボランティア登録及びボランティア活動保険加入 宇佐市ボランティア連絡協議会加入について

令和２年度ボランティア活動保険について

日本国内におけるボランティア活動に参加される方はボランティア活動保険への加入を推奨しています。
さまざまな事故による「ケガなど」や「損害賠償責任」を補償します。

ボランティア活動保険加入状況	（令和2年8月31日現在）
基本プラン	887 人
天災・地震補償プラン	42 人

宇佐市ボランティア連絡協議会　登録状況	（令和2年8月31日現在）
団　　体	39
個　　人	11

保険料について

保険料	２年度	基本プラン	天災・地震補償プラン
		３５０円	５００円

令和２年度の「ボランティア登録」「宇佐市ボランティア連絡協議会」「ボランティア活動保険」の受付を社会福祉協議会各支所で随時行っています。詳しくはお問合せください。

災害ボランティア活動に参加される際は、地元社協でボランティア活動保険への加入をお願いします。

お問い合わせ　宇佐市社会福祉協議会　本所　☎33－0725　担当：鬼塚

令和２年度「夏のボランティア体験月間」報告

今年も市内の福祉施設や保育施設など20施設のご協力のもと、「夏のボランティア体験月間」が実施されました。新型コロナウイルスの影響により、例年に比べると少ない参加人数でしたが、中学生から社会人までの17名の方がボランティア活動を体験されました。

”やってみたい!“という気持ちを行動へと変えた参加者の皆さんそしてチャレンジをサポートしていただいた施設の方、ありがとうございました。

参加者内訳人数	中高生	高校生	大学・短大・専門学生	その他	合計
	1	14	1	1	17

参加者活動施設数	高齢者福祉施設等	障がい児・者施設	児童福祉施設	合計
	3	1	13	17

宇佐市成年後見支援センターからのお知らせです!!

宇佐市成年後見支援センターは、中核機関となりました。

令和2年4月より、宇佐市成年後見支援センターは**中核機関**となりました。
その一環として、宇佐市成年後見制度利用促進協議会が宇佐市により設置され、当センターが事務局を行っています。

これは、必要な方がきちんと成年後見制度を利用できるように、また親族後見人の方が孤立せず後見人業務を行えるように、それらの方々を多職種間で連携をして支えられるように設置された協議会です。

多職種に渡り検討を行うため、普段は金融・障がい・高齢各分野で部会を開いています。年1～2回、協議会を開催する予定です。

地域・福祉・医療・法律のみならず、金融機関にもご参加いただいているのが、宇佐市の大きな特徴です。

中核機関とは？

成年後見制度の利用を促すために、様々な関係団体の地域ネットワークの中核を担う機関です。家庭裁判所をはじめ、弁護士会などの専門職団体、医療福祉関係団体などと連携し、相談対応や後見人候補者の調整といった役割を果たします。

Q そもそも宇佐市成年後見支援センターって何をしているの？

A 成年後見制度の総合相談や申立ての支援、市民後見人養成講座等講座を開講しています。
また、成年後見制度の普及・啓発活動を行っています。
その他にも、最適な後見人候補者を家庭裁判所に推薦する「受任調整委員会」、困難ケースを検討する「ケース検討会」を開催しています。
「専門職や家庭裁判所に相談をするのは敷居が高い」という声をよく耳にします。当センターは、社協の中に設置されていますので、お気軽にご利用下さい。相談は無料です。

Q ケース検討会って何？

A 法律・医療・福祉の専門家が集まり、困難ケースについて検討を行います。
成年後見制度に限らず、様々な面について、本人にとって一番良い支援方法を検討していきます。

Q 受任調整委員会のメリットって何？

A 法定後見制度において、後見人等の最終決定は家庭裁判所の裁判官が行います。
センターが情報取集を行い、法律・医療・福祉の専門家が多方面から候補者を検討し、推薦することにより、後見人等のミスマッチを防ぎます。また、申立てから成年後見人等選任までの時間短縮の目的もあります。

令和2年度　市民後見人養成講座を開講します

ご自分で判断することが難しい方を保護し支えるのが成年後見制度です。
認知症等で判断能力が低下しても、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活をしていく、その生活を支える仕組みの一つに、市民後見人の存在は欠かせません。
地域福祉活動や社会貢献に意欲をお持ちの方・成年後見制度や市民後見人の仕事に関心のある方は是非ご参加ください。

●開催日時　11月6日、13日、20日、27日（毎週金曜日）　9:30～16:00（最終日のみ15:30終了）
●参加対象者　宇佐市にお住まいで成年後見制度や市民後見活動に関心がある方
年齢が70歳未満の方
●参加費　無料　●募集人数　10名（超える場合は抽選となります）
●会場　宇佐市勤労者総合福祉センターさんさん館
●申込期限　10月21日（水）17時まで必着
●申込方法　申込用紙を下記申込先に郵送・FAX・持参にてお申込ください。
●その他　カリキュラムは宇佐市社協ホームページ・本所・各支所でご確認ください。
コロナウイルス感染拡大の状況により、中止もしくは延期の可能性があります。
予めご了承ください。

法律・福祉の相談会を開催します

宇佐市成年後見支援センターでは、成年後見制度などの様々な困りごとを解消するために、専門職による相談会を開催します。
今年度は弁護士・社会福祉士による相談会です。

こんなお悩み、ありませんか？

●将来のことが心配・成年後見制度について
●成年後見業務について　●終活について
●その他、福祉・法律に関わることで、どこに相談したら良いか分からない

●日時　10月24日（土）10:00～16:00　1人30分目安
●場所　宇佐文化会館・ウサノピア　1階　多目的室
●対象者　宇佐市に関わりのある方
●申込方法　相談票にご記入のうえ、社協本所へ持参・郵送・FAXにてお申込みください。
相談票は本所・院内支所・安心院支所に設置、及び社協ホームページより印刷してご利用ください。
●申込期限　10月23日（金）17時まで必着　※先着順での受付です。
・定員に達した場合はその時点で締切となります
・後日予約時間を個別にお知らせいたします
・空きがある場合のみ当日申込をお受けできます（当日連絡先：090-6894-4008）

※どの専門職に相談となるかは相談内容を検討の上、センターにて決めさせていただきます
また、コロナウイルス感染拡大の状況により、中止・延期の可能性があります。予めご了承ください。

申込先　宇佐市社会福祉協議会　本所　33-0725

楽しく!仲間と!元気に

ご存知ですか?

認知症予防教室!!

おうち時間が増えたり、生活圏域が狭くなったりと新型コロナウィルスによる暮らしの変化の中、最近こんなことに気づくことありませんか?

「前に比べて忘れっぽくなったなぁ。」
"あれ、コレ、それ"を使うことが増えて
なかなか言葉が出てこない

「認知症が気になる。。。」

宇佐市では、地域で取り組む認知症予防教室があります。

元気なうちから取り組む予防で認知症発症リスクが軽減することを目的としています。

頭と心と体を活性化させる

認知症予防教室

頭

作業療法
色読み・
間違い探し等
脳トレ

認知症予防を目的とし、
脳の活性化に効果的な
プログラムを参加者全員で
自主的に考え、実践。

体

運動療法
健康運動指導士
プロデュースの
体操

心

自宅ではなかなか頑張れないって方も
安心!
同じ目的をもった仲間と一緒に!
生涯現役、いろんなことに挑戦!

認知症予防につながる!!

現在19教室が活動。およそ290名の方々が参加されています。

- 宇佐地区 14教室
- 院内地区 2教室
- 安心院地区 3教室

活動歴が長い教室は、
平成16年から
継続されています!

令和2年8月現在

湊

樋田

社協までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ　宇佐市社会福祉協議会　本所　☎33−0725　担当:湊・樋田

地域に根ざした介護予防教室

概ね65歳以上が対象です

～転倒予防体操～

目的

住み慣れた地域の中で、いつまでも健康でいきいきと過ごすことができるように、地域住民が主体となり、各公民館等を利用して、健康づくりや介護予防の取り組みを行い、身体機能を維持・向上させる。また、閉じこもりを防ぎ、住民同士で見守り合いができる環境を目指しています。

内容

- 筋力、体力の向上
- 健康に対する意識の向上
- 地域の人たちでの見守り、支え合う環境づくり
- 健康寿命を延ばす

セラバンド（ゴムチューブ）を使用した
筋力トレーニング・ストレッチ等を含めて、1時間程度
地区での体操の開催頻度は、最低月1回
（できれば毎週の活動をお勧めしています）

中時枝体操教室の皆さん

元永

お問い合わせ　宇佐市社会福祉協議会　本所　☎33－0725　担当：元永

高齢者ふれあいサロン

概ね65歳以上が対象です

目的

地域において、生きがいをもち、元気に過ごしていくために、地域の公民館等を利用して、サロンの参加者やボランティア等が企画・運営を行うことで、地域の居場所づくりにつなげることを目的としています。

内容

- 住み慣れた地域で仲間づくり
- 閉じこもりの予防
- 生きがいづくり
- 認知症予防・介護予防

たとえば…

- お茶を飲みながら、楽しくおしゃべり
- 情報の交換や提供
- 花壇づくり、地域奉仕活動
- 講師を招いて、講演会　など

＊社協よりレクリエーション道具の
貸し出しも行っています＊

川部春日会の皆さん

「気軽に」「無理なく」「楽しく」活動中！

元永

お問い合わせ　宇佐市社会福祉協議会　本所　☎33－0725　担当：元永

認知症で不安なときの窓口

探し物が多くなった　ミスが多くなった　日付・時間・場所が分からなくなった

1人で悩まずにご相談ください

認知症は「早期発見」「早期診断」「早期対応」が大切です！

事前に準備ができる

本人や家族で話し合って治療方針を決めたり、利用できるサービスを検討し認知症に向き合う準備を整える事ができる

治療で改善が期待できる

症状が悪化する前に適切な治療やサポートをすることで今の状態を維持し、進行を遅らせる場合がある

現状を維持できる

認知症状が出る原因はさまざまですが早期に発見・治療をすることで改善が期待できるものもある

大石

中西

お問い合わせ　宇佐市社会福祉協議会　本所　☎33−0725　担当:大石・中西

認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して！

地域のみなさんや認知症の人と家族の会、認知症ボランティア、医療介護の専門職、生活支援コーディネーターなど、いろいろな方と連携・協力しながら認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために地域づくりに取り組んでいます。

認知症に関する相談支援

認知症かも?どうしたらいいの？などご相談ください

認知症出前講座

認知症ケアパスを使い、認知症を正しく理解し、予防法や相談窓口を知る講座です

認知症カフェ

認知症の方やご家族、地域のみなさん誰もが気軽に集える場所です

認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の方や家族の気持ちや接し方を知る講座です

認知症ボランティア養成

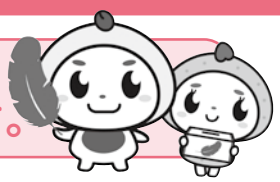
認知症サポーター養成講座終了後、認知症ボランティアとして啓発活動等をおこないます

大久保

お問い合わせ　宇佐市社会福祉協議会　本所　33-0725　担当:大久保

令和2年度　歳末たすけあい募金　配分対象事業の一般公募

大分県共同募金会宇佐市共同募金委員会では、
歳末たすけあい募金配分金の対象事業を募集いたします。



❶ 配分対象団体

市内で活動する福祉を目的としたボランティア団体、非営利事業を行うグループ・団体で、活動実施に必要な資金の確保が困難かつ社会福祉協議会の推薦を受けられるものであること。

❷ 配分対象事業

公費補助や他の助成金を受けられない福祉を目的とした事業で、実施予定の福祉活動、機材整備、活動拠点立ち上げ時に必要な消耗器具備品整備事業を対象とする。
なお、団体の経常的な運営費、人件費、旅費、食料費などは、対象経費から除く。

❸ 配分額

配分額は対象事業費の２分の１とし、配分限度額は以下のとおりとする。

①福祉活動事業	１５万円以内
②機材整備事業	２５万円以内
③消耗器具備品整備事業	１５万円以内

❹ 募集期間

令和２年11月２日から令和２年11月30日

❺ 応募方法

申請書類（配分申請書、事業計画書、予算書等）を提出してください。
※配分申請書は、事務局（宇佐市社会福祉協議会）に請求してください。

❻ 配分決定

本会に設置する審査委員会にて決定されます。

❼ 問合せ先

大分県共同募金会宇佐市共同募金委員会（宇佐市社会福祉協議会）
☎0978-33-0725

宇佐市障がい者移動支援事業（グループ型）
「かけはし号」のご案内

屋外での移動に困難がある障がい者・児に対し、地域住民によるボランティアが外出の支援を行い、仲間と一緒に余暇をいきいきと楽しむとともに、地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とした事業です。障がいのある人2名を含む4名以上より利用可能です。利用方法など詳しい内容は社会福祉協議会までお問合せください。「かけはし号」で外出してみませんか?

運転・介助のボランティアも募集しています。

「かけはし号」の利用やボランティアで活動するには登録が必要です。
詳しくは下記までお問い合わせください。

お申込み・お問い合わせ
宇佐市社会福祉協議会　本所　☎３３－０７２５　担当：相良

じぶんの町をよくするしくみ。

赤い羽根共同募金

運動期間／10月1日～12月31日

令和2年10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。
昨年はみなさまのこころ温まるご支援により多額の募金実績をあげることができました。
共同募金運動を通して、地域福祉の向上のためにご協力をいただき心からお礼申し上げます。
今年も、共同募金運動にみなさまの変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

みなさんの身近なところで役立っています!!

高齢者のために
- 見守り、声かけ等　訪問活動
- 配食サービス
- 高齢者ふれあいサロンの運営費や貸出備品の整備
- 歳末見舞品　等

子どもたちのために
- クリスマス訪問

障がいのある方のために
- 特別支援教育相談室の開催

地域福祉推進のために
- 福祉関係団体助成
- ボランティア活動
- 災害ボランティアセンターの整備
- 車イスの整備
- ボランティア活動安全対策

エコキャップ運動　ご協力ありがとうございます

(R2.5.1～8.31)

- 円徳寺
- 両院商工会女性部
- 深見小学校
- 社協安心院支所へ持って来てくれた皆様
- 両川こども園
- 石楠花
- 上城井いきいきサロン
- 豊川こども園
- めぐらの里デイサービス
- 宇佐こども園
- 浪漫亭
- 別府の森ゴルフ倶楽部
- 岡田京子
- 駅川女性の集い
- 下城井よろ一会
- 西日本高速道路サービス九州㈱ 宇佐料金所
- ダスキン宇佐
- 宇佐市母子寡婦福祉会
- 富山健康会
- 普照こども園
- 長洲民児協
- 四日市上町区
- 閤六寿会
- おげんき倶楽部いわさき
- 都甲英之
- 宇佐市役所　安心院支所
- 妻垣荘
- 佐藤第一病院
- サロンひまわり
- 都留由美子
- 高森ヘルス会
- 岩保いきいきふれあいサロン
- (公社) 宇佐高田法人会
- 柳ヶ浦3区もくれん
- 四恩こども園
- 上乙女八日会
- 金丸わかば会
- 金屋保育園
- JAおおいた宇佐女性部
- 宇佐市役所　院内支所
- 院内北部小学校
- 宇佐病院

その他多数の市民の皆様（順不同、敬称省略）

期間計 R2.5.1~R2.8.31現在	＊キャップ重量･･･610kg ＊ポリオワクチン･･･約152人分
運動開始からの総計	＊キャップ重量･･･32728.1kg ＊ポリオワクチン･･･約8182人分

キャップ数
約1,600個(4Kg)

＝

ポリオワクチン1人分

発行 社会福祉法人 宇佐市社会福祉協議会 URL http://www.usa-shakyo.jp
本　所 〒879-0455 宇佐市大字闇437番地 TEL.33-0725 FAX.33-0970
院内支所 〒872-0301 宇佐市院内町御沓556番地の4 TEL.42-5631 FAX.42-5681
安心院支所 〒872-0521 宇佐市安心院町下毛2111番地の1 TEL.44-0334 FAX.44-1316

社会福祉協議会は、みなさまと共に社会福祉を推進する民間の社会福祉法人です。

この広報誌は共同募金配分金の一部を受けています。